

地方創生推進交付金事業 事後検証シート

地域再生計画名	真庭版DMO「一般社団法人 真庭観光局（仮称）」を中心とした観光地域づくり推進体制支援事業						
計画期間	平成30（2018）年度～令和2（2020）年度						
事業概要	<p>真庭市及び本村が加盟する真庭版DMO「一般社団法人 真庭観光局」がマーケティングを実施し、ターゲットを明確にしたプロモーションを実施していくことで、観光入込客数の増加を目指す。</p> <p>また、本圏域の多彩な地域資源を活用した滞在交流型観光を強化することで、観光客の滞在時間の延長による消費額の増加で地域経済の活性化を図る。</p> <p>【実施事業】</p> <p>①真庭観光戦略推進事業（真庭観光戦略会議、ワーキンググループ運営）</p> <p>②真庭圏へ来訪しやすいシステムの構築 （ポータルサイト機能強化、海外プロモーション、メディアを活用した情報発信等）</p> <p>③マーケティング調査事業（顧客満足度調査の実施）</p> <p>④滞在交流プログラムの企画・実施</p> <p>⑤地域資源を活用した特産品の開発及び販路開拓 （特産品開発・研究コーディネート、ブランディングと販路開拓）</p> <p>⑥人材育成事業（地域づくりマネージャー育成等）</p>						
重要業績評価指標（KPI）		H30	R1	R2	累計	達成状況	
観光入込客数（千人）	目標	161	174	162	497	1	
※事業開始前3,720千人からの増加数	実績	△521	74	△124	△571		
KPI達成状況評価	<p>毎年度観光入込客数は増加しているものの、平成30年の西日本豪雨や新型コロナウイルスの影響等により想定を下回っているため、目標は未達成であった。</p> <p>なお、本村の観光入込客数については、平成30年度は94千人（対前年132%）、令和元年度は108千人（同115%）、令和2年度は75千人（同70%）となった。</p>						
課題と今後の展開	<p>○ 新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、旅行形態は団体旅行から個人旅行へ移行してきている。このような状況の中、テレワーク、ワーケーションなど新たな客層の獲得に向けた取組が必要である。また、本村と真庭市において自然共生型の体験プログラムの充実と連携を強化し、宿泊を伴う滞在交流型観光を推進していく。</p> <p>○ なお、令和3年度から真庭観光局が地域との連携強化のため、新庄村・湯原・美甘・落合・北房の各地区からそれぞれ1名を地域づくりマネージャーとして採用することとし、本村からは村内個人事業主がマネージャーとして就任している。これを契機として、真庭観光局を通じた本村の観光振興や特産品のPRを一層推進していく。</p>						

【評価の考え方】

達成率＝実績値／目標値

【達成度の評価基準】

- 5：達成率が120%以上
- 4：達成率が100%以上120%未満
- 3：達成率が80%以上100%未満
- 2：達成率が50%以上80%未満
- 1：達成率が50%未満